

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所等)

1 評価機関

名 称	NPO法人人材パワーアップセンター
所 在 地	千葉県松戸市稔台7-12-6 コートルピナス102
評価実施期間	2025年5月9日～ 2025年10月10日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	AIAI NURSERY 浦安 アイアイナーサリー ウラヤス		
所 在 地	〒279-0004 千葉県浦安市猫実4-2-3-1		
交通手段	東京メトロ東西線 浦安駅南口より徒歩約7分		
電 話	047-316-2181	F A X	047-316-2575
ホームページ	https://nursery.aiai-cc.co.jp/facility/urayasu/		
経 営 法 人	AIAI Child Care株式会社		
開設年月日	2015/11/1		
併設しているサービス	延長保育事業		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県浦安市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	5	7	7	7	7	7	40		
敷地面積	716.35㎡			保育面積		666.66㎡			
保育内容	0歳児保育 ○		障害児保育 ○		延長保育 ○		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	嘱託医による内科健診・歯科健診（年2回）、身体測定（毎月1回）								
食 事	事業委託献立による自園調理								
利用時間	平日（7:00-20:00）、土曜（7:00-18:00）								
休 日	日曜・祝日・年末年始（12月29日から1月3日）								
地域との交流	広報誌の発行、親子イベントの開催、地域の小学校との連携・接続、近隣の保育園やこども園との交流保育、地域の公共機関の利用								
保護者会活動	年に2回、クラス単位の保護者会を実施								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	7	9	16	施設長を含む
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	14	0	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	1	0	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	浦安市 健康こども部保育幼稚園課 認定・入園係		
申請窓口開設時間	平日(8:30-17:00)		
申請時注意事項	『浦安市認可保育所・認定こども園入所ガイドブック』の内容を確認の上申請		
サービス決定までの時間	受付期間：前月10日(但し、10日が休日にあたる場合は、その直前の開庁日) 利用調整結果：前月20日頃に郵送予定 ※4月入所について、一次受付は10月下旬、二次受付は1月下旬に概ね開始予定		
入所相談	園見学(随時)、電話でのお問い合わせ		
利用料金	保育料：(浦安市の規定に準ずる) 延長保育料：時間帯による(50円/30分、100円/30分、400円/30分のパターン有) 保育環境の維持及び管理費：クラスによる (0~2歳：2,420円/月、3・4歳：1,650円/月、5歳：2,200円/月)		
食事料金	0~2歳(利用料金に含む)、3~5歳(副食費：2,000円/月)		
苦情対応	窓口設置	有	
	第三者委員の設置	有	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>子どもたちを「未来の力」と位置付け、子ども達が将来、社会に貢献し、活躍出来る存在となるために、保育理念のもと、「人間関係の向上／社会力の育成」「精神衛生の向上／養護力の育成」「身体機能の向上／人間力の育成」を保育目標とし、取り組んでいきます。そして、「子どもたちが現在を最も良く生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う」笑顔と元気の溢れた園を創造していきます。</p> <p>【保育理念】 一人でも多くの子どもが人間が生まれながらに持っている素晴らしい力を育むことに喜びを感じ笑顔と元気が溢れた園を創造すること</p>
<p>特 徴</p>	<p>AIAI NURSERYでは、「一人ひとりの個性や資質を踏まえ、お友だちや保育者と協力しながらより良い学びを得られる保育」「個別最適な学びを実現する充実した幼児教育プログラム」の提供を目指しています。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>AIAI NURSERYは「子ども達にとっての、もうひとつの家でありたい」をコンセプトに、家庭的なあたたかい雰囲気の中で、子どもたち一人ひとりの欲求に耳と心をかたむけ、寄り添い、それぞれが「生まれながらに持った素晴らしい力」を大切にしながら、豊かな成長を遂げられるよう見守っています。『協働的な学び』と『幼児教育』を保育・教育の柱とし、『協働的な学び』では、外遊びや観察遊び、製作遊び、散歩、手遊び・うた遊び、積み木・ブロック遊びなどを通じて、子どもが自ら考え、周囲と協力して学ぶことを大切にしています。『幼児教育』では、基礎的・基本的な知識や技能を習得する「知識教育」と、その成果を土台として、子どもの興味・関心に応じた学びを提供する「思考教育」を行い、小学校入学を見据えた「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力などの基礎」「学びに向かう人間性」を育み、子どもたちの才能を伸ばしていきます。保育室は木の温もりを基調としたインテリアで統一しており、安全・安心に配慮し、子どもたちが快適に過ごせる空間となっています。調理室は衛生管理を徹底した安全なオール電化キッチンとなっており、自園調理でできたての昼食・おやつを提供します。玄関ドアはオートロックでカメラ付きインターフォンと電気錠を併用しており、防犯機能を高めています。お休みや送迎時間の変更をはじめ、さまざまなやりとりはアプリから行えるようになっており、園からのお知らせや配布資料もアプリから閲覧できます。子どもたちの園生活の様子は毎日ブログで発信している他、写真や動画も販売しており、写真はデータとプリントのどちらも選択可能です。スマートフォン等から手軽に購入することができます。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
1. 保育の質を高めるために、こどもたちの状況を職員で共有する工夫をしています。
ITC化により、職員・保護者間でタイムリーかつ効率的に情報連携できる体制を構築しています。緊急を要する案件は電話で、それ以外はチャットで連絡するなど、状況に応じた対応をしています。早番、遅番などシフト勤務の職員を含め、こどもの状況を職員全員が把握できるよう、事務所内にホワイトボードを設置し、昼礼の結果などの共有事項を記載する運営にしています。ホワイトボードは確認押印が必要な資料、当月/来月の行事、ヒヤリハット・軽度事故を確認できるもの、こどもの状況を記載し共有するものが設置されています。保護者に伝えるべき事項は赤字で記載することで、伝達漏れや職員間での共有を強化しています。
2. 職員が働きやすい体制を築き、モチベーション向上に取り組んでいます。
職員が責任感と向上心を持って保育に取り組めるよう、さまざまな取り組みを行っています。正社員とパート社員のチーム制を導入し、情報共有や行事の係をチームで行っています。年初に行事スケジュールを策定する際に行事担当を決めることで、パート社員を含む全職員が計画的に責任感をもって行事に取り組む運営ができています。また、チーム制にしたことで、パート社員の不在時の状況はペアの正社員から伝える仕組みとなっており、スムーズに情報連携ができています。
3. 「人が集まる保育園」を目指し保護者だけでなく地域の方にも園を知ってもらうための取り組みに注力しています。
①園の広報誌「うらねこ通信」を子育て情報サイト「MY浦安」に掲載する他、市役所や堀江つどいの広場にはリーフレットを置いています。②保護者や地域の親子が参加できるイベント(室内開放、感触遊び、離乳食試食会、親子クッキング・製作など)を積極的に開催し、子育て支援を実践しています。特に昨年は親子参加の「うらねこまつり」を実施しました。施設前の敷地で手作り神輿を担いだり、保育室内には金魚すくい・射的などのコーナーも用意し、地域の親子も共に楽しむ姿がありました。
さらに取り組みが望まれるところ
1. 園の新しい取り組みを保護者によりわかりやすく発信することに期待します。
こどもたちの成長を促すため、園では様々な新しい取組を行い、その様子はエントランスに写真を用いたドキュメンテーションを掲示することで保護者が送迎時に状況を把握できる工夫をしています。一方で新しい取組や保育の運営を見直している背景を保護者に説明する機会が少なく、園の取組が十分に伝わっていないケースも見受けられました。結果だけではなく、根拠や背景を説明することで、保護者の理解が進みますので、わかりやすく伝える工夫をより進めていくことに期待します。
(評価を受けて、受審事業者の取組み) ○保護者アンケートの結果及び回答や保育運営に関する変更点などを周知する際、今後は書面だけでなく、希望する方には個別の説明会を実施することで保護者からの理解と協力が得られるように配慮します。 ○施設のエントランスに保育園への『ご意見箱』を新たに設置します。いただいたご意見は施設長に届き、全体に伝えるべき内容であれば施設の全職員に回覧します。また、ご芳名があり、子どもたちのためにそうあるべきと共感できるご意見・ご感想をいただいた場合は施設長が改善策を考え、全職員に周知した後に回答を掲載させていただきます。

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				☑実施数	☐未実施数
I 福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4	0
			2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0
	2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7	0
			4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4	0
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3	0
			6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7	0
			7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5	0
			8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4	0
			9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
			職員への質の向上への体制整備	7	0
II 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3	0
			11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0
			12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0
	2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0
			14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	3	0
	3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	15 提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
			16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
	4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
			18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4	0
			19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
20 項目別実施サービスの質			20 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	0
21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5	0	
22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5	0	
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。			5	0	
24 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。			4	0	
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。			6	0	
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。			6	0	
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。			4	0	
28 家庭との連携が十分図られている。			3	0	
29 地域社会との連携が十分図られている。			3	0	
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。			3	0	
5 安全管理	子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
		32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	4	0	
		33 食育の推進に努めている。	5	0	
6 地域	環境と衛生	34 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	0	
		35 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	0	
		36 災害対策	36 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	0
37 地域子育て支援	地域子育て支援	37 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0	
		計	159	0	

項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念や基本方針(行動指針)は、法人のホームページや施設のパフレット、リーフレット、重要事項説明書に記載しています。また、保育理念や行動指針は額に入れて施設のエンタランスに掲示しています。施設のパフレット及び重要事項説明書は、保護者や職員が常に閲覧できるようエンタランスのカウンター上に設置している他、重要事項説明書については施設のホームページにも掲載しています。</p> <p>また、昼礼(毎日)と職員会議(毎月)の内容に保育理念と行動指針を取り上げ、共有化と実行面の振り返りを行っています。なお、昼礼の内容は事務室のホワイトボードに記載、職員会議の内容は議事録に残して全職員に配付しています。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園希望者に対しては、園見学や内定後の面接、保育園体験会&子育て相談会(年3回実施)において、パワーポイントで作成した資料や施設に掲示しているドキュメンテーションを用いながら、保育理念や運営方針について分かりやすく説明しています。</p> <p>利用者と保育理念・運営方針に基づく保育実践や幼児教育の内容について話し合う場としては、運営委員会、保護者会、説明会、個人面談等の機会を設けています。また、実践面を日常的に伝える手段としては、連絡帳アプリ「CCS」や送迎時の時間を活用する他、広報誌の発行、エンタランスにクラスごとの本日の活動結果やドキュメンテーションなどを掲示することで、保育の可視化や継続的な情報発信に努めています。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>AIAIグループは子育てに係る環境変化を踏まえ、三育(保育・療育・教育)を実現して子どもたちの能力を伸ばすための取り組みに注力しています。指導計画に基づく実践状況の振り返りから成果と課題を確認して、次年度の指導計画や行事計画、小学校や地域社会との連携計画を職員間で見直し、運営方針を明らかにした上で事業計画を策定しています。また、事業計画の実施状況の把握・評価は四半期ごとに職員の意見も反映して行い、年度終了時の事業報告を作成しています。年度末の運営委員会でも事業報告と次年度の事業計画を説明し第三者委員の意見・要望も踏まえて事業計画を確定しています。</p> <p>また、方針・計画・課題については主に昼礼(毎日)と職員会議(毎月)で全職員に周知しています。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員間でAIAI NURSERYの保育理念の因数分解を行い、その結果を反映し自園の理念と具体的な方針・行動を定めています。</p> <p>施設長はパート社員を含む全職員との1on1を定期的に行い、業務や人間関係などについて話し合う場を設けています。また、フロア(乳児・幼児)毎の会議を定期的に行い、パート社員を含む全ての職員で話し合う機会を設けています。会議で活発な議論ができるよう、事前にテーマを示し、考えを整理したうえで会議に臨む。施設長は参加せず、副主任がファシリテーターを務める会議を行うなど、職員が主体的に考え、実行できるような工夫をしています。</p> <p>AIAIグループでは新卒社員から施設長までキャリアに応じたテキストと研修が用意されています。キャリアパス制度を踏まえ職員のキャリアアップにつながる職員毎の研修計画を作成しています。また、パート社員を含む保育水準を均質化かつ最適化することを目的とした園内研修「ビデオカンファレンス」を実施しています。また、系列園との合同研修に職員を参加させ、知識・技術の向上を図り、意欲や自信を育てています。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的に行い、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>全職員がコンプライアンス研修や不適切保育・虐待防止研修を定期的に通講し、法令遵守や倫理、個人情報管理、プライバシー保護等に関する意識を高めています。また、職員には「就労時に求められる適切な考え方・姿勢・言動」、「行ってはならない不適切な考え方・姿勢・言動」、「不適切な事例」が記されたAIAIグループの『就労の心得』を配付し、毎日の昼礼でその内容を振り返る時間も設けています。不適切保育・虐待防止研修は毎年1名以上が受講し、その後受講者が講師となって他の職員へ共有を図っています。また、コンプライアンス違反の通報窓口は事務所に掲示し、職員に周知しています。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点に対して、人材や人管理体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。
<input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。			
(評価コメント)			
<p>保育ICT「CCS」を導入しており、こどもの出欠管理や連絡帳、午睡管理ならびに写真や動画の販売も対応しています。配置基準を考慮したシフト作成や施設運営に必要な書類の作成・管理等の業務をデジタル化することで職員の業務負担も軽減しています。なお、保育のICT化については、AIAIグループの保育園に通う園児の保護者1516世帯を対象に実施された保護者アンケートで高い満足度を得ています。</p> <p>勤怠管理はクラウド型の管理システムを導入しており、有給休暇の消化率や時間外労働のデータ等は施設長が定期的にチェックしています。問題点があれば母店とも相談し、改善対応しています。</p> <p>AIAIグループとして充実した福利厚生制度を設けているほか、職員のワークライフバランスに応じて雇用形態を変更する制度があり、パート社員から正社員に転換した職員もいます。</p>			
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	評価が公平に出来るように工夫をしている。
(評価コメント)			
<p>新卒社員の定着率を高めるため、AIAIグループとして新卒社員向けの教育制度(メンター制度、研修制度)が整えられています。メンターについては選任の要件(勤務経験、職種、人物像)を定めることで人材育成の目的を明確にしています。また、一般職から管理職までのキャリアパスが明確になっており、中・長期的な視点から職員の育成計画を立て実行しています。人事評価については職員が設定した個人目標に対して事前に評価基準や評価方法を共有したうえで、定量的な数値目標を設定し、客観的な評価ができる運営にしています。職員の本人評価と施設長の評価が異なる場合は、客観的な基準に基づき、丁寧な説明を行い、職員の理解を得る運営にしています。</p>			
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人管理体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人管理体制について、具体的な計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
(評価コメント)			
<p>保育士の配置については、厚生労働省の「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」に基づき定められている人数を遵守しています。園児数の増減や職員の状況から人管理体制を整える必要がある場合は、母店施設長に報告の上、具体的な改善計画を立て実行しています。</p> <p>毎年9月に実施する「就業意向調査」を踏まえ、グループ内の施設間での職員配置に関する不均衡の解消、全体の最適化を図るとともに、採用活動を実施し、次年度の運営に効果的な人材確保を実現しています。</p>			
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	中長期の人材育成計画がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職種別、役割別に能力基準を明示している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別育成計画・目標を明確にしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	OJTの仕組みを明確にしている。
(評価コメント)			
<p>AIAIグループのキャリアパス制度に基づき、施設長が期初に全職員分の研修計画を立て、職員同意のうえでキャリアアップを目指し、計画的に研修を受講しています。保育水準の均質化・最適化のための園内研修「ビデオカンファレンス」や、系列園と合同のテーマ別研修を実施することで職員の知識・技術の向上を図り、意欲や自信を育てています。</p> <p>職種別の役割については職務分掌表にて明示しており、業務内容や手順、求められる能力については各種マニュアルに記載しています。施設長と主任に関しては会社独自のライセンス制度があり、心構えや姿勢、必要な能力基準等を明示しています。</p> <p>新卒社員や中途入社社員の教育は、主に施設長と副主任が1on1やOJTを通じて指導にあたっていますが、人材育成は施設の全職員にその責務があることを周知しています。</p>			
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの尊重や基本的人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	日常の援助では、個人の意思を尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
(評価コメント)			
<p>不適切保育・虐待防止の取り組みとして「虐待の芽チェックリスト」「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を使用した振り返りを年2回以上実施しています。結果は本部に報告し、後日全施設の集計結果が各施設に開示される仕組みになっています。また、「不適切保育・虐待防止研修」の実施、「就労の心得」に基づく振り返りを行っており、不適切な考え方・姿勢・言動はないか職員間で確認しています。問題点が見つかった場合は施設長が当該職員と面談を行い、問題点を指摘し、改善報告書を作成し母店施設長に提出する運営にしています。</p>			

11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)</p> <p>個人情報保護に関する方針をホームページ、AIAI NURSERY 利用ガイドライン、重要事項説明書に掲載し、AIAI NURSERY 利用ガイドラインはエントランスの掲示板に掲示、重要事項説明書はエントランスのカウンター上に設置し利用者が閲覧できるようにしています。個人情報の利用目的や第三者への開示・提供については、ホームページ及び重要事項説明書にて明示し、利用開始時に同意を得ています。職員に対しては、「就労の心得」に基づく振り返りやコンプライアンス研修を通じて、個人情報保護について周知徹底しています。また、実習生に対しては、実習生受入れマニュアルに基づき、オリエンテーションの際に個人情報保護を周知徹底しています。</p>		
12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
<p>(評価コメント)</p> <p>匿名の保護者アンケートを年2回以上実施し、結果及び回答はエントランスに1か月間掲示することで保護者に周知しています。課題や問題点が見つかった場合は会議を行い、解決策を検討して対応方法の見直しや改善につなげています。アンケート結果を踏まえた改善事例として、親子遠足の内容見直し、保育参加の形式変更を行いました。日頃から連絡帳、電話、面談等を通じて利用者とのコミュニケーションを密にし、相談しやすい環境を整えています。利用者からの相談内容は場所、対応日等とともに所定の書面に記録しています。</p>		
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
<p>(評価コメント)</p> <p>相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記された重要事項説明書を保護者に配付しています。また、苦情・要望の窓口(苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、弊社相談窓口)を記載した資料をエントランスに掲示し、利用者への周知徹底を図っています。AIAIグループとして、相談、苦情等に関するマニュアル(苦情対応規程、虐待防止・苦情対応マニュアル)を整備しています。相談、苦情等対応の結果は「相談・苦情報告書」に記録して問題点の改善を図り、利用者へ解決内容を説明して納得を得る運営としています。</p>		
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> 自己評価や第三者評価の結果を公表している。
<p>(評価コメント)</p> <p>「保育内容等の自己評価シート」を活用し、自身の保育内容等について定期的(年2回)に自己評価をし、結果を母店に報告する運営になっています。自己評価や保護者アンケート、保育理念の因数分解の結果等を基に園全体の保育の質向上の目標を定めています。今年度は「気づける保育園」を目指し、3つの具体的行動を習慣化しています①保育の振り返り…意識せずに行ったことが子どもを傷つける場合もある。出来事や自身の思考を客観視することでこども理解を深め、次の保育に活かす ②保護者対応の共有…特定の職員のみが把握している状況を作らない。また、園として一貫した対応が取れるよう、園からの配付物やお知らせの内容は事前に確認する ③職員同士で褒め合う…ネガティブな感情や言葉はポジティブなものに変換し合う。第三者評価の結果はホームページに掲載・公表するとともに、自己評価の結果をエントランスのカウンター上に設置し、利用者が閲覧できるようにしています。</p>		
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 業務の基本や手順が明確になっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル見直しを定期的に実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>AIAIグループ共通の「保育基本マニュアル」「障がい児保育マニュアル」「健康・衛生管理マニュアル」「給食提供マニュアル」等、職務別・役割別のマニュアルがあり、業務内容や手順が明確になっており、職員は必要に応じてマニュアルを活用しています。園としてマニュアルやテキストの確認を定期的に行い、疑問や不明点が見つかった場合は母店施設長に確認する運営になっています。マニュアル内容は定期的に本部で見直され、改定があれば都度展開されます。</p>		
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/> 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 <input checked="" type="checkbox"/> 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>問合せ及び見学に対応できることについて、ホームページ、リーフレット、広報誌に明記しています。個別の見学要望には曜日や時間帯など、利用者の利便性を考慮した柔軟な対応をしています。子育て支援活動や保育園体験会(土曜日開催)で来園された方々も含めると、昨年度は約60件の見学要望に対応しました。見学者への対応は基本施設長が行っています。</p>		
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育理念に基づく教育及び保育方針や内容、基本的ルールについては、園見学や入園前面談時に適宜資料を用いながら1時間程度利用者に説明しています。教育及び保育の内容等、重要事項に係る内容については利用者へ丁寧に説明し、同意書を交わしています。食物アレルギーの疑いがある場合はアレルギー対応面談を行い、食物アレルギー対応のフローを保護者に分かりやすく説明しています。災害時対応については、主に避難訓練(毎月)や引き渡し訓練(年1回)の実施を通じて、保護者への連絡体制や園児の引き渡し方法、避難の判断基準等を確認し、保護者との情報共有を図っています。</p>		

18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力的体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
全体的な計画は「養護・教育・食育の観点」「保育所の方針」「保育時間や家庭環境」「年齢に適したこどもの発達過程」等のポイントを押さえ、その目標をどのように達成するのか意識した長期的な計画を作成しています。作成に当たり、家庭の実態については、連絡帳アプリや送迎時の時間、個人面談、保育参加、保護者アンケートを通じて、地域の実態については、来園者(園見学、保育園体験会、子育て支援活動)とのやりとり、「浦安市こども・子育て支援総合計画」に関する基礎調査報告書や「第3期浦安市こども・子育て支援総合計画」を確認することで把握に努めています。計画は施設長を中心に職員と話し合いを重ねて作成しています。保育計画のねらいや内容の適正性を確認する具合的な話し合いを四半期ごとに実施しています。話し合いは、職員の発言の機会が偏らないように工夫をしたり、職員同士で意見交換する時間を設けるようにしています。			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
全体的な計画を基に、長期的な発達を見通した指導計画(年間、月間)と、より具体的なこどもの生活に即した短期の指導計画(週間)を作成し、適切に指導できる運営に努めています。作成の際はこどもの生活の連続性、季節の変化等を考慮し、こどもの興味や関心、発達の実情等を考慮しています。計画に基づく運営をしていますが、偶発的な事象がこどもの関心や興味を広げる機会になることから、柔軟に対応しています。乳児、1歳以上3歳未満、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画を作成しています。特別配慮が必要なこどもについては、発達段階や特性等について、保護者や専門機関(児童発達支援事業所、こども発達センター)と連携して作成しています。保育実践の内容は四半期ごとに振り返りを行っています。昨年は0,1歳児クラスの振り返りで「感触遊びを充実させたい」という意見が挙がり、7月から毎月感触遊びを企画・実践しました。保護者も参加できる機会を設けたところ、好評を得ています。			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
こども一人ひとりの成長・発達を把握し、個々の興味・関心に応じた保育活動を行っています。保育者は発達段階に即した玩具や絵本などを用意し、こどもが自由に選べるよう環境設定しています。3歳以上児クラスのこども全員対象の「知識教育」と希望者の「思考教育」のプログラムは個別に行うのではなく、こどもの意欲や主体性に基づく自発的活動として、また生活や遊びの一部として展開し実践しています。保育者は好奇心や探究心を持って遊ぶこどもの姿を見守り、周りと比べず(急がせず)、考えたことを褒めるサポートを心がけています。			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
0・1歳児クラスは同じフロアで、トロファストやテーブルの配置を工夫することでこどもたちの活動が十分出来るようにしています。こども一人ひとりの生理的なリズムを尊重し、個人差や興味・関心に沿った室内の環境を整え遊びの内容を工夫しています。スキンシップや受容的・応答的な関わりをすることで愛着関係も築いています。送迎時の時間や連絡帳アプリ「CCS」を活用して保護者との連携を図り、様々な相談や問い合わせに丁寧に対応して信頼関係を築いています。毎月の園児記録や月ごとの発達記録、3ヶ月に1度の保育経過記録を作成し、クラス担任を中心に職員間で共有しています。調乳室には調理・調乳従事者健康確認表と掃除チェックを掲示しています。			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
2歳児クラスは基本的な生活習慣(手洗いや衣服の着脱等)について、こどもが自分でしようとする気持ちやできた姿を見守り、次に保育者が一緒にやりながらその方法を知らせることでこどもの自我の育ちを援助しています。こどもが好奇心を持って豊かな遊びができるよう、衛生面・安全面に配慮した環境を整えています。送迎時の時間や連絡帳アプリを活用して保護者との連携を図り、相談や問い合わせに丁寧に対応しています。また、保育活動の様子をドキュメンテーションで掲示し、こどもの表情や言葉を可視化して伝えることで信頼関係を築いています。園児記録や発達記録、保育経過記録を作成し、職員間で共有しています。			

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの興味や関心を引き出すことができるよう、子どもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
3歳以上児クラスは基本的な生活習慣(排泄や着替え等)について、子ども自身でやり遂げた満足感を味わえるよう、保育者は時間に余裕を持ち、画一的な進め方でなく、個々の気持ちとペースを大事に見守り援助しています。保育者は着替えや排泄の場面でパーテーションを設けることで性的プライバシーにも配慮しています。送迎時の時間や連絡帳アプリを活用して保護者との連携を図り、様々な相談や問い合わせに丁寧に対応しています。子ども一人ひとりの生育歴や発達過程などはクラス担任を中心に共有し、園児記録、発達記録、保育経過記録を作成しています。			
24	身近な自然や地域社会と関わるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
(評価コメント)			
おさんぽマップを玄関に掲示しています。公園で身近な生き物や植物に触れ、カブトムシの飼育活動(浦安市子どもの広場から成虫をもらう)を行ったり、プランターで野菜(なす、ピーマン、トマトなど)を育てています。園外保育(散歩、公園)で一緒になった他園の子どもや親子と声を掛け合ったり、すれ違った地域の人やお店の人と挨拶を交わすことがあります。体育館や公民館(運動会で利用)、郷土博物館、図書館(2週に1回)といった公共機関を利用するなどの社会経験が得られる機会を作っています。他に芸術体験として、園内と公民館で行う音楽コンサート(年3回予定)があります。年中行事や季節の変化、子どもの興味や関心に沿った活動を柔軟に日常の保育へ取り入れています。			
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが役割を果たせるような取組みが行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。
(評価コメント)			
保育者は子ども同士が関わりを持つ中で他者意識を持ち、自分の言いたいことを頭の中で整理して相手に伝えられるよう適切な言葉かけをしています。トラブルがあった際は、子どもの気持ちを受け止めつつ、順番を守ることや我慢することも時には必要なことを適切なタイミングで伝えています。また、異年齢の交流が盛んで、一緒に散歩へ出たり、平日の合同保育や土曜保育、行事と一緒にいたり、登降園の際は他クラスの友だちに対しても積極的に挨拶をしています。3歳以上児はプランターの野菜に水やりをしたり、散歩の際は年長児が年下児と手をつなぐなど、子どもが役割を果たせるような取組みをしています。			
26	特別な配慮を必要とする子どもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども同士の関わりに対して配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
(評価コメント)			
浦安市発達支援保育審査会が認定した子どもについて個別の指導計画を作成し、きめ細かな支援を行っています。毎月の職員会議で子どもの様子や具体的な対応、職員間の役割分担などについて共有を図り、個別指導計画に基づく振り返りはクラス担任を中心に3か月に1度行っています。AIAI PLUS(多機能型事業所)や浦安市子ども発達支援センター、行政担当課と連携しています。クラス担任は障害児保育の研修を受けており、保護者とは3か月に1度面談を行って子どもの情報を共有し、今後の保育や支援内容について話し合っています。			
27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/>	担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	担当職員の研修が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
(評価コメント)			
伝達簿を用いた引き継ぎを職員間で丁寧に行い、保護者への連絡事項や子どもの園での様子など、保護者に十分に伝わるよう配慮しています。保育者は長時間保育特有の課題(子どものストレスや疲れやすい様子)や緊急時の対応などについて、知識やスキル向上の研修を受けています。合同保育の時間帯においても、子ども一人ひとりが好きな遊びを楽しめるよう配慮しています。例えば誤飲防止の観点から、合同保育を行う場合は0・1歳児クラスの保育室を利用し、その上で遊びのコーナーを未満児と以上児に分けてそれぞれに合った玩具を用意しています。また、疲れやすい時期や体調に留意し、必要に応じてすぐ横になれるようマットを用意するなど、無理なくゆったりと過ごせるように配慮しています。			
28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
保護者とは日常的に送迎時の時間や連絡帳アプリを活用して連携を図り、年間行事予定でお知らせしている個人面談、保育参加、懇談会などの機会に相談内容を丁寧に聞き取り記録に残しています。外国籍家庭に対しては言語的支援(翻訳機器の活用)や必要に応じて宗教食への対応もしています。また、浦安市子ども家庭支援センターの依頼に基づく要保護児童の情報提供を行い、保護者に対する社会的支援が適切に行われるよう相談援助しています。			

29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
地域の小学校との交流は、校内探検、授業体験、児童との交流などがあります。高齢者との交流は独自にはなく、園同士の交流がある若草認定こども園主催の高齢者とのふれあい行事と一緒に参加する機会があります。就学に向けての計画は、今後園だよりと学校だよりの交換やアプローチカリキュラムへの協力依頼を通して、小学校との交流活動をより発展させていく予定です。また、保育所児童保育要録を就学先の小学校へ送付しています。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
虐待早期発見チェックリストを用いて、着替え(洋服や体臭)や食事などの様子からマルトリートメントの兆候の把握に努めています。異変を感じたら施設長へ報告し、継続観察を行い記録しています。養保護児童に関しては情報提供書を毎月作成し、浦安市こども家庭支援センターへデータ送付しています。虐待が疑われる場合、またあった場合は市川市児童相談所や行政機関と連携しながら対応しています。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
年間保健計画を作成し、嘱託医による年2回の内科健診・歯科健診を実施し、結果は保護者に配付しています。毎月の身体測定(身長・体重)の記録と、年2回の頭囲・胸囲の測定記録、日々のこどもの喫食状況や睡眠、排便などの園での様子は保育 ICT「CCS」に記録しています。保育者は「事故防止研修」を受けてSIDSに関する理解を深め、睡眠時の呼吸確認やうつぶせ寝の体位変換を適切に行っています。保護者に対しても保護者会で伝えたり、普及啓発用ポスターの掲示とリーフレット配布で情報提供しています。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症発生時のBCPを策定し、改善・更新がある場合は改訂したBCPを基に会議を開催、職員全員に周知しています。また、体調不良や怪我が発生した場合は「事故発生防止ガイドライン」のマニュアルに沿って保護者へ電話連絡し、受診が必要と判断した場合は施設長・クラス担任が同行の上、可能であれば保護者も直接医療機関へ行くようにしています。感染症発生が10名以上又はこどもの半数以上発生した場合は玄関先に掲示し、連絡帳アプリの一斉メッセージでも知らせています。また、必要に応じて嘱託医や保健所へ連絡・相談の上、施設の対応を決めています。嘔吐処理対応については座学とロールプレイング研修を行い、各フロアに嘔吐処理セットを用意しています。暑い時期の園外活動については暑さ指数を基に判断しています。事務室内に医務スペースを設け、救急セットはお散歩バッグにも携行しています。			
33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人一人のこどもの心身の状態等に応じて、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
栄養士が年間食育計画を作成し、園の方針や保育の考え方、こどもの実態や発達について理解し保育の一環としての食事の提供・食育を行っています。こどもは野菜の栽培やクッキング活動、その他毎月実施している食育活動を通して調理員と関わり、食への興味を深めています。食物アレルギーの誤食防止については「食物アレルギー対応マニュアル」「事故発生防止ガイドライン」に基づき、具体的な対応方法や取り組み(アレルギー除去食提供の留意点として配膳の専用食器使用、担任は調理受け渡し確認票に押印の上引き渡しを行う)を共通理解しています。「残さず食べるよう求める」「一品ずつ提供する」「デザートに条件・制限を設ける」などの対応は不適切であることを理解し、食べることが楽しいと思えるような働きかけを工夫しています。			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
季節に応じた保育室内の温・湿度や換気と採光、音などの環境に配慮し、施設内外の設備や用具などは清掃・消毒・安全点検を丁寧に行うことで衛生管理に努めています。こどもへの手洗い指導は効果的で楽しく習慣化できるよう、絵本やスケッチブックシアターを活用したり、歌を歌いながら保育者と一緒に手洗いを行って汚れチェックをするなど徹底しています。保育室内は棚上に不要な物を置かない、高い場所に重量物を置かない、玩具・教材などは整理された状態で格納するなどを心掛けており、こどもが安全に快適に過ごせる環境を整えています。			

35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
AIAIグループ共通の「事故発生防止ガイドライン」があり、事故発生時の応対・報告フローや緊急時における職員の役割分担表を事務室内に掲示し、全職員へ周知しています。状況に応じて「ヒヤリハット報告書」「軽度事故報告書」「事故報告書」を作成し、毎月の職員会議で事故発生原因の分析と再発防止策を検討・実行しています。設備や遊具などの安全点検(2週に1回)を行い、収納棚へのコーナガード設置や備品の転倒・転落防止、避難車の点検や散歩時のチェック(遊具の点検、ゴミや危険物の除去、危険箇所の確認)を徹底するなど、適宜安全対策を講じています。不審者訓練は年1回以上実施し、対応方法(合い言葉で周知、さすまたや催涙スプレーの使用など)や役割分担の確認をしています。			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
AIAIグループ共通の「危機対応・安全管理マニュアル」に沿って消防計画を作成し、毎月の避難訓練(消火・避難)と年2回の総合訓練を行い、総合訓練の報告書は浦安市消防本部へ提出しています。課題が見つかった場合は会議にて解決策を検討し、計画の見直しや改善・更新につなげています。総合訓練は消防署とマンション住民・オーナーと連携して行い、年1回実施している保護者への引渡し訓練では「園児引き渡しカード」を使用した引き渡し方法を確認しています。保護者への連絡体制・園児の引渡し方法については重要事項説明書にて緊急時の保育園の対応及び避難先を周知しています。職員の安否確認方法についてはBCPに記載し全職員へ周知しています。			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育てで家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
地域の子育てニーズは保育園体験会や園見学、相談会で聞き取りすることで把握しています。保護者や地域の親子が参加できるイベント(室内開放、感触遊び、離乳食試食会、親子製作・クッキング、保育園体験会等)を積極的に開催し、地域での交流の場を提供しています。地域の子育て支援に関する情報誌を玄関内に設置しています。子どもは散歩に出かけた時や行事などで地域の親子と交流する機会が多くあります。			